

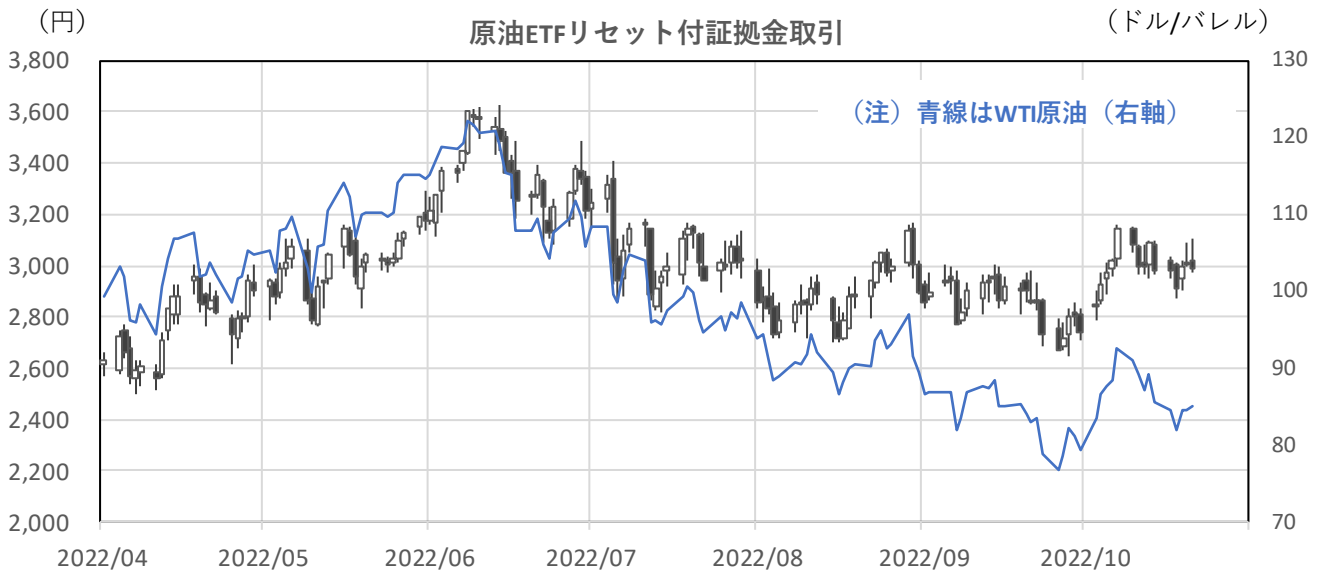
# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/10/24号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## 80ドル台で不安定な値動き

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル台中盤をコアに揉み合う展開になった。世界経済の減速による需要不安、バイデン米政権が戦略石油備蓄（SPR）放出の動きを見せたことが、上値を圧迫した。一方で、供給不安に対する警戒感も根強く押し目買いも入っており、結果的に明確な方向性を打ち出せなかった。

バイデン米大統領は10月19日、12月にSPRから原油1,500万バレルを放出すると発表した。5～11月に1億8,000万バレルのSPR放出を行う計画になっているが、計画未達分が発生していることもあり、12月に追加放出を行うことになる。また、今後は更に追加放出を行う可能性も示している。これは原油需給の緩和要因になるが、相場に対する影響は限定的だった。放出規模が米石油需要の約1日分相当とあって、大きなインパクトはないとの見方が優勢だった。また、ホワイトハウスが原油価格が70ドル水準まで下落した際には、逆にSPR補充のための購入を行う方針を示したことで、SPR放出の限界が見え始めてきたことはポジティブ。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（10月14日時点）は、原油が前週比173万バレル減、ガソリンが11万バレル減、石油精製品が12万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 売買テーマに乏しいが、下値固める展開へ

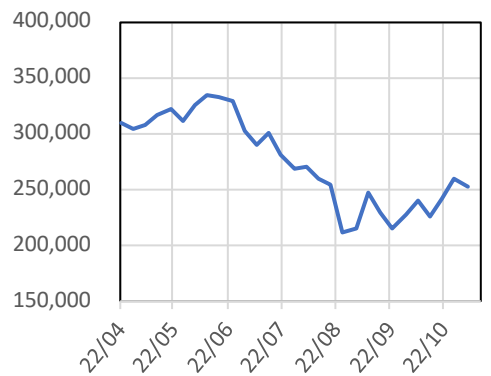
強弱材料交錯で決め手を欠いているが、徐々に地合を引き締める展開になろう。根強い需要不安が上値を圧迫するが、石油輸出国機構（OPEC）プラスの大規模減産が11月から開始されるため、10月中に需要不安やドル高などで売られる場面がみられると、物色妙味が大きい。まずは90ドル台へのコアレンジ切り上げを打診する展開が続く見通し。

世界経済の減速感は強くなっており、原油相場も需要不安に上値を圧迫される展開が続く見通し。ただ、中国が「ゼロコロナ」政策を堅持する一方で、入国者に対する隔離措置の緩和を行う方針と報じられていることで、需要環境の改善期待も浮上している。このため、需要サイドのリスクで大きく値を崩すリスクは限定されよう。

一方、OPECは11月から生産目標枠を8月比で日量200万バレル引き下げる。実際の減産量は100万バレル強に留まるとの見方が優勢だが、それでも冬の需要期に強力な減産対応が実施されれば、需給は引き締まる可能性が高い。年末に向けては欧州連合（EU）のロシア産石油に対する禁輸措置も発動することになり、少なくとも需給要因からは上振れリスクに対する警戒が求められよう。

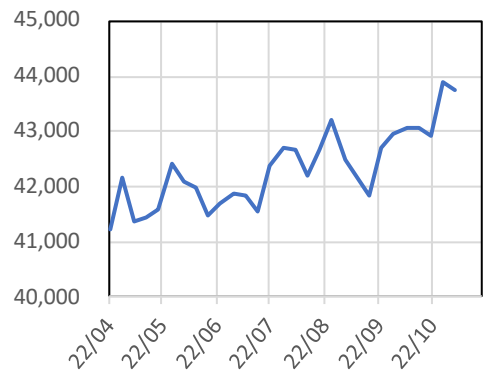
SPR放出発表を受けても値崩れを起こすことは回避され、地合の改善が窺える。冬季が近づいていることで、石油精製品在庫のタイト感が再評価されると、一段と地合が引き締まる。一方、株安やドル高といった外部環境の悪化がみられると、上値を圧迫され易くなる。共産党大会終了後の中国経済動向にも注意が必要だろう。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



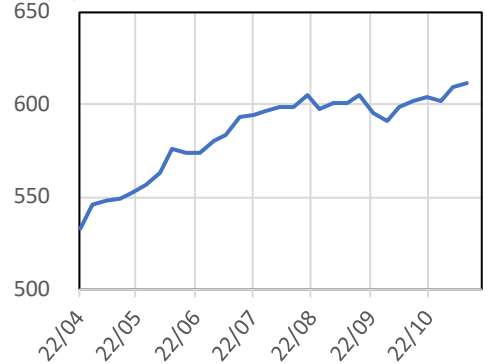
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

